

ご存じ
ですか？

江東区上空を低空飛行！

予想される飛行経路
(北風時)



実線矢印は国交省資料によるC滑走路からの出発機の飛行経路。

網掛けの太い幅は、現在の羽田空港出発機の航跡図から予想される飛行経路。

江東区は、住宅が密集し、学校や幼稚園・保育園も多数あります。授業や部活、幼児の屋外での遊びにも大きな支障が出ます。

室内でも窓を開けた状態ではテレビの音もさえぎられません。

三分に一機)となります。



離陸時の最大騒音レベル (国交省資料から抜粋) 単位はデシベル

機種 高度	小型機		中型機		大型機	
	737-800	A320	767-300	787-8	777-200	777-300
3000ft(915m)	73	74	76	69	76	77
3500ft(1065m)	72	72	74	67	74	75
4000ft(1220m)	70	71	73	66	73	74

年間二二〇日、騒音は江東区の広い範囲に

北風運用は、実績で6割(年間二二〇日以上)におよび、夏でも北風運用はかなりあります。

国交省の計画では、出発機は荒川上空を飛行経路にしていますが、今でも出発機の実際の航路は離陸直後から幅3kmくらいに広がっており、新しい航空路になると江東区内の広範囲に騒音被害が発生します。下表のように騒音レベルは七〇デシベル以上で、現在のヘリコプターの騒音よりもかなり大きく、くらべものにならない頻度(二〜

国交省は、二〇二〇年から国際競争力強化を理由にした羽田の国際線増便のため、飛行経路の変更を計画しています。計画では、羽田での北風運用時に、朝六時〜十時半と午後三時〜七時の間、一時間当たり二十機の出発機が江東区上空を低空(高度九〇〇m〜一二〇〇m)で上昇していきます。

国交省が羽田新航空路を計画